

北九州エコタウン事業について

【エコタウン事業とは】

北九州市は、長年にわたる「ものづくりのまち」としての産業基盤や技術力、公害克服の過程で培われた人材・技術・ノウハウ等を活かし、資源循環型社会の構築を図るため、「環境保全政策」と「産業振興」を統合した独自の地域政策として、1997年7月に国から認定を受けた後、「北九州エコタウン事業」を推進している。

【エコタウン事業のこれまでの取組み】

各種リサイクル法に対応したもの及び独自に進出したものを合わせ、我が国最大級の事業集積となっている。

- 直接投資額 : 累計 888 億円※1
- 雇用数 : 1,040 人※1
- 見学者数 : 累計約 210 万人※2

※1 2023年3月時点 ※2 2024年6月時点



【北九州市エコタウンセンター】

エコタウン事業を生きた教材として活用する環境学習拠点として、また、エコタウン事業の支援拠点として2001年6月に開設。

ここでは、エコタウン事業の取組みや市内の環境関連企業をパネルや展示品などで紹介するほか、見学コースを用意し、見学者を各リサイクル工場に案内している。



【本館外観】



【別館外観】



◆エコタウン見学者数の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
見学者等の数 (延数)(人)	101,796	100,014	96,150	20,724	40,032	81,650	101,226

◆見学者等の地域・属性(2023年度実績)

属性 (%)				地域 (%)		
議会・行政	教育機関	一般	企業	市内	市外	海外
5.8	70.4	10.7	13.1	47.2	41.4	11.4

【話題事項等】

北九州エコタウン見学者200万人達成

2023年7月11日(火)に、社会科見学で訪れた八幡東区高槻小学校4年生の児童21名をもって、北九州エコタウンの見学者が200万人を突破した。

当日は、大庭副市長を招いて記念式典を執り行った。